

平成30年度 第2回 第6期武蔵野市廃棄物に関する市民会議要録

- | | |
|--------|--|
| 【日 時】 | 平成30年11月1日(木) 午後6時57分～9時19分 |
| 【場 所】 | 市役所西棟4階 413会議室 |
| 【出席委員】 | 山谷修作(委員長)、田口誠(副委員長)、新垣俊彦、荻野芳明、
(敬称略) 金井憲一郎、加藤慎次郎、木村文、沢村哲志、西上原節子、能勢方子
花俣延博、吉安晶子 |
| 【事務局】 | ごみ総合対策課長 ほか |
| 【欠 席】 | 松井理依子、茂木勉 |
| 【傍 聴】 | なし |
| 【配付資料】 | |
| | ・【資料1】一般廃棄物処理基本計画一部改定の内容について(骨子) |
| | ・【資料2】一般廃棄物処理計画資料修正案 |
| | ・【資料3】武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会最終報告書 |
| | ・【資料4】武蔵野ごみニュース |
| | ・【資料5】小型家電の回収手法の拡充について |

1 開会

遅刻の委員より、先に開催してほしいとの連絡を頂いているので、定刻前ではあるが、市民会議を開催する。

2 議題

(1) 一般廃棄物処理基本計画の改定内容について

【事務局】配付資料1『一般廃棄物処理基本計画一部改定の内容について(骨子)』を説明。

【委員長】改定のポイント①、②について意見はあるか。これまでの実績についてはどう評価しているか。

【事務局】想定以上の減量ができて一定の評価はできる。しかし、今後の目標設定に関して、ごみ排出量の減りが一定若しくは上がる傾向がみられる。現状のトレンドのまま、排出量が減少するのか判断が難しいため、他市のごみ排出状況の動向も視野にいれつつ決定していきたいと考えている。

【委員】事務局側は、再設定するにあたり何が難しいと考えているのか。他市同様、武蔵野市での下げ止まりの要因として考えられるのは何か。

【事務局】生活必需品に付随するごみは必ず発生するという考えのもと、下げ止まりという表現を用いた。

【委員】武蔵野の場合、JR駅を3つ持っている。駅周辺の商店街が広がるエリアのごみ排出量が多い。最低のごみ排出量は、リバウンドする可能性は十分高い。ごみの排出量は人口だけでなく景気動向にも左右されると考える。

【委員長】家庭系ごみの中にも小規模事業者からのごみも含まれていることから、家庭系

のごみも景気の影響を受けるだろう。他に意見はあるか。

【委員】5年間で家庭系ごみが7%減少した理由の分析はできているのか。

【事務局】景気動向と市民の年齢層の変化が関連していると考え。また、ディスプレイ設置の大規模マンションの増加により生ごみのごみへの排出量が減少していると推測している。市内の新聞紙の排出量が減っていることも一因だと考えている。

【委員】エコクッキング、堆肥化等により生ごみは減少しているが、一方で使い捨て商品やプラスチックは増加している。

【委員長】段ボールについては増加傾向にあるのか。

【事務局】通販の影響もあり、段ボールは増加している。

【委員長】家庭系ごみ減量に向けた取り組みで力を入れているものは何か。

【事務局】これから力を入れて取り組む施策は可燃ごみ中の4割を占める食品ロス対策を考えている。

【委員】第1部5.ごみ排出実態調査の概要を削除した理由はあるのか。

【事務局】以前のごみ排出実態調査の結果、一人世帯より世帯数が多い方がごみ排出量は多いことが分かった。しかし、同規模の調査を再度行うことは費用的にも難しく、データの更新をせず掲載するのも適正ではないと考え、削除とした。掲載すべきだという意見があれば検討する。

【副委員長】ごみ排出量の変動の原因は多様。今あるデータを見た限りでは、減少するトレンドが続くので今後も減少傾向が続くと考えられる。しかし、より多くのデータをみてみる必要はあると考える。

【事務局】全体的トレンドは減少傾向だが、オリンピックやパラリンピック等ごみ量上がる要因が控えている。たたき台は作成し、ごみ排出量の目標案はお示ししたい。

【委員長】年1%は減らしていけると考えるが、目標設定値を高く設定するよう検討してもらいたい。

【委員】③災害廃棄物処理計画について。P31「地震等の災害」の部分で地震だけでなくゲリラ豪雨等の水害対策についても盛り込むべきと考える。市内の地域性を考慮した被害区域、状況を反映させた災害廃棄物対策について重点的に検討を行うべきと考える。

【事務局】災害廃棄物処理計画については、仮置場の選定場所問題等で住民がナーバスになりやすいため明確に公表するのは少々ためらってしまう。足がかりとして本計画に災害廃棄物について、多少は盛り込んでいきたいとは考えている。

【委員長】新クリーンセンターは災害時に強い設備能力を有するのか。

【事務局】ガスを用いた発電が行えるため他の施設と比較すると災害に強い施設と言える。

【委員】中圧ガスを用いた発電のため災害時に強いといえる。

【委員】中圧ガスは地震時に止まることはないのか。

【委員】阪神淡路大震災や東日本大震災での過去の震災において中圧ガスは停止しなかった実績があり、災害時に強いといえる。

【委員】配管が丈夫ということか。

【委員】そういうことだと思われる。

【委員】ミカレットについて、中央図書館前や公園のトイレは管轄が別ということか。

- 【事務局】 そうです。本来は小さな公共施設であっても、各々計画を立てることになっているが、小規模施設ごとに計画するのは現実的ではないため、今回、一般廃棄物処理基本計画の改定にあわせて、例えば、生活排水処理基本計画に記載することを考えている。
- 【委員】 23区だと最近だときれいな公衆トイレが多い。集客数が多いにも関わらず、吉祥寺はトイレが一つしかない。利用客が集中すると公衆トイレのきれいさは保たれなくなる。公衆トイレはある程度数を設置することが必要だと思う。
- 【委員】 公衆トイレのデザインも重要なので、三鷹らしさ、吉祥寺らしさを感じられるデザインを検討してもらいたい。
- 【委員】 公衆トイレの整備の優先順位は低いと考えているのだが、事務局的にはどうお考えか。
- 【事務局】 必要性は分かるが、後回しにされやすいのが現状である。
- 【委員】 資料を見る限り、事業系の持ち込みの減少と全体の傾向がリンクしているのがみてとれる。個々の動向の推移についての考えをきかせてほしい。
- 【事務局】 事業系持ち込みごみは昨年度から平成30年度は半年で10%増えている。中国の輸入規制が関係しているのは間違いない。今年の1月以降の事業系は増加傾向になると考えている。2019年ワールドカップ、2020年オリンピック、パラリンピックなど事業系ごみについては危機感を抱いている。
- 【委員】 来年10月、消費税増税の可能性があり、購買が控えられることも考えられる。いろいろな条件が重なると、ごみ量の予測は厳しい。
- 【委員】 レジ袋の有料化がほぼ決まった。レジ袋も容り法の項目に入れば、目標値を上げてもよいと考えるが、事務局はどう考えるか。
- 【事務局】 減量要因にはなると考える。ただ国の制度が未定で、量の予測を立てられる状況にない。
- 【委員】 調理済み商品を多く消費する。その他容器包装プラスチックは増えると思う。
- 【事務局】 レジ袋やマイクロプラスチックの観点とも合わせて考慮すべきことだと考える。
- 【委員長】 市内の小売店のレジ袋削減に向けた取り組み状況はどうか。
- 【委員】 10年前から取り組んでいる。レジ袋の有料化で揉めた時期がある。利用客がレジ袋の有料化には敏感である。有料化にしたら確かにごみ量は減少した。
- 【委員】 レジ袋を切り口として、プラスチック全体を削減しないといけない。正直、日本でのプラスチック容器包装の過剰包装は病的だと思っている。プラスチック製品を減らすためには生活スタイルから変える必要がある。そのきっかけとして全市でレジ袋の有料化をしよう。
- 【委員長】 海外ではプラスチックやレジ袋自体を使わせないところもある。そのぐらいしないとダメだと思う。
- 【委員】 ⑤新クリーンセンターの真に望ましい処理方法とは何を考えているか。
- 【事務局】 具体的には決まっていない。対象としては、剪定枝やプラスチック容器包装が考えられる。新しいクリーンセンターは、ごみ処理の際に発電を行うようになり、またマイクロプラスチックが世界的な環境問題として取り上げられている。状況は変化している。これらを受け、環境負荷低減に資する処理のあり方について、研

究しなければならないものと考えている。

【委員長】続けて報告事項についてお願いしたい。

3 報告事項

(1) 武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会の最終報告書の公表について

及び、

(2) 行政収集の頻度及び収集地区割と収集品目の見直しについて

【事務局】配付資料3『武蔵野市ごみ収集の在り方検討委員会最終報告書』を説明。

【委員】市民説明会はいつ開催を予定しているか。また、ふれあい収集について広報したり、サービスを受けられる資格の緩和を行ってほしい。

【事務局】市民説明会は年があけてからを想定している。ふれあい収集については個別に相談してほしい。

(3) 小型家電回収事業の開始について

【委員長】続けて小型家電回収について説明をお願いしたい。

【事務局】配付資料5『小型家電の回収手法の拡充について』を説明。

【委員】5. その他（燃やさないごみへの有害ごみ混入対策）は展開調査のことか。

【事務局】別な形で行う調査ということ。

その他

【委員長】日程調整をお願いしたい。

【事務局】次回の開催は、11月下旬から12月上旬に開催希望である。後日委員の皆様のご都合をメールで伺い決定する。

4. 閉会